



- 2 エッセイ／“おかね”を語る  
なつかしき金欠時代 作家 林 望
- 4 インタビュー／扉を開く  
ゴリラから『人間』を学ぶ ゴリラ研究者 山極寿一
- 9 地域の底力——勝連  
志の高い子供たちを育てる勝連を訪ねて——「肝高の阿麻和利」公演  
沖縄県うるま市勝連
- 16 対談／守・破・創  
パートナーシップを軸にした  
ドイツと日本の新しい関係づくりが必要だ  
駐日ドイツ連邦共和国大使 ハンス＝ヨアヒム・デア  
日本銀行政策委員会審議委員 亀崎英敏
- 20 にちぎんのある街から  
秋田——生きる術を、行事に託して
- 24 貨幣の歴史学  
三貨制度の成立——貨幣統合の近世のかたち 住友史料館副館長 安国良一
- 28 大人のための日銀見学ガイド  
日本銀行本店【業務編】
- 32 トピックス
- 35 AIR MAIL from NEW YORK  
1 ドル硬貨にみる歴代大統領の肖像

## 表紙のことば

日本銀行秋田支店は、大正六年八月一日、福島支店に次ぎ東北地方では二番目の支店として開設された。当時、秋田県下には一六行もの地元銀行があったが、現金を手当するには遠く福島まで往復三日を要するなど不便を余儀なくされていたため、地元銀行の頭取が連名で大蔵大臣と日本銀行総裁に支店設置の請願をしたという。開設当初のこの一部赤レンガ造りの旧店舗は、現在の店舗と同じ場所（秋田市大町）に位置し、旧秋田銀行本店（明治四十五年竣工、現秋田市立赤れんが郷土館）の建物とともに、商業、金融の中心である大町界隈の象徴的存在であったと伝えられている。昭和二十七年に改築された現在の店舗は、当時としては極めて斬新な建物で、完成時には地元で大変な評判となった。また、県内で初めて設置されたエレベーターは、小・中学生の見学コースとなり、営業場に子供たちの歓声が響いていた時もあったという、ほのぼのとしたエピソードも残っている。

